

製材接着・積層工法

AK レジン 550 (AK550)

【国土交通省大臣認定番号 MWCM-0019】

AK レジン 550 は、製材に塗布し接着・積層することで、大断面木材を作ることができます。杉を用いて重ねた「木質複合軸材料 スギ BP 材(重ね)」は、指定建築材料として日本で初めて国土交通省大臣認定を取得しました。

「スギ BP 材」の重ね段数は、2 段から 5 段までで、梁だけでなく柱にも用いる事が出来ます。製材の寸法は、120 角材・150 角材で、長さは 10m まで製作できます。

特徴

- 木材に高い接着性能を示します。
- ホルムアルデヒドは一切発生しません。シックハウス対策に掛かる規制を受けることなく用いることができます。
- 強度発現が極めて早い、超速硬タイプです。
- 主剤・硬化剤の配合ミスや混合不良がありません。
- 使用量のみ混合するため材料ロスがありません。
- 速硬タイプで、砂の量を減らしてあるので、木材同士の面圧着作業に適します。

製品構成

<p>・樹脂カートリッジ 960ml</p>  <p>(主剤:640ml、硬化剤:320ml)</p>	<p>・エアガン</p> 
<p>・スタテックミキサー</p> 	<p>・ハンドガン (小規模作業の場合使用)</p> 

塗布方法

①概要：

主剤と硬化剤の入ったカートリッジをエアガンセットし、トリガーを引くことにより先端に取り付けたスタティックミキサーで自動攪拌された混合液が必要量吐出されます

②塗布量：350±50g/m²

③温度：5℃～35

④圧縮時間・養生時間：

品質管理基準に従い、温度によって定められた時間を厳守すること

杉 BP 材の特徴

- 製材では調達しにくい大断面も、間伐材の利用により、大断面木部材を作ることができます。
- 集成材よりコストを抑えることができます。
- 製材と同等の意匠性を確保することが出来ます。
- 厳しい品質管理の下製造されているため、製材より品質のバラツキが抑えられます。
- 建設コストや維持費が高い JAS 認定集成材工場ではなく、一般加工工場での製造が可能です (ただし、指定建築材料として製造する場合には、国土交通省大臣による工場認定が必要です)。

圧着風景



製品完成後



施工事例



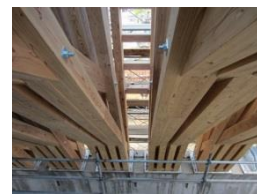
工芸社・ハヤタ工場



九電工研修施設



鹿北小学校



三加和小中学校



熊本地区支援学校